

令和元年度

ひたちなか商工会議所

事業ダイジェスト

年度末会員数 4,019件 組織率 72.9%

### <重点事項Ⅰ> 変化に対応したまちづくりと地域創生の推進

地域の魅力を活かした観光振興に取り組み、地域力向上を図るとともに、ひたちなかまちづくり(株)等と連携を図りながらイベントの開催や変化に対応したまちづくりと地域創生の推進を展開した。

#### きらり輝き観光振興大賞受賞

ほしいも神社の建立など、インバウンド客への対応や、地域資源をブランド化し、集客の拡大と観光消費に貢献した点が高く評価され、ほしいも魅力発信プロジェクトが「2019全国商工会議所きらり輝き観光振興大賞」を受賞した。



▲ 全国515会議所の頂点！悲願の観光大賞受賞（2/13）



▲ 日商三村会頭より表彰状を授与



▲ 観光振興大会でプレゼンする柳生会頭と鈴木名誉会頭

#### ランナー向け朝食メニュー「走食健美」開発

勝田全国マラソン大会に参加するためランナーを応援するための朝食メニュー「走食健美」を市観光協会の協力のもと開発し前日祭や市内ホテルで試食やメニュー配布を行い、ランナーにも大変好評であった。



◀ マラソン大会に参加するランナーへの応援メニュー



▲ ほしいもの聖地にシンボル誕生。ほしいも神社

#### 地域おこし事業／駅ナカ売店KATTE

土産品を購入できる場所が少ないなどの観光客の声に応え、勝田駅2階東西自由通路に期間限定の駅ナカ売店KATTEを開設した。期間中は、ご当地グルメなどの土産品を販売し、多くの観光客が訪れた。



▲ 多くの観光客が土産品に興味津津（4/27～5/12）

## 魚食普及活動支援事業

魚食の推進を図るとともに、次代を担う子供たちに魚への興味をもってもらうことを目的に、東京海洋大学名誉博士タレントとしても活躍中のさかなクンが講師となり「魚食普及講演会」の開催や、屋外ではタコ焼きフェスが行われるなど終日、賑わった。



▲クイズを出しながら絵を描くさかなクン（8/21）



▲大勢の人で賑わうタコ焼きフェス（8/21）

## セブンシーズマリナー初寄港

県内で初となる外国クルーズ船「セブンシーズマリナー」が寄港し、歓迎おもてなしイベントが開催された。地元観光や飲食店の情報提供など、賑やかな歓迎イベントとなった。



▲セブンシーズマリナー初寄港（4/28）

## 勝田全国マラソン大会前日祭事業

屋外ではパスタフェスを実施し、ステージイベントでは、本市にルーツをもつ、長野オリンピックスピードスケート金メダリスト清水宏保氏を迎えトークショーなどを開催。また、ウエルカム清掃など、地域を挙げおもてなしを実施した。



▲本市にルーツを持つ清水宏保氏トークショー（1/25）

## チャレンジショップ事業

空き店舗解消及び多様な業種の店舗誘致による商業機能充実活性化を目的に実施した。

今年度採択店舗：▶DRAGON DINER ▶Chill out  
▶オモチャファクトリー（CoiChi）

## プレミアム付き商品券事業

地域経済の活性化や地元の消費拡大を目指して、発行総額5億50万円の商品券を市内51ヶ所で販売した。列に並ぶことが困難な方を対象にした事前予約販売を今回も実施した。



▲今年度採択店舗のオモチャファクトリー（CoiChi）



▲プレミアム付き商品券販売の様子（10/6～7）



▲JR佐和駅（12/2～1/26）



▲JR勝田駅（12/4～1/26）

## 駅前イルミネーション事業

近隣商店街の賑わいづくりを目的に駅前広場を活用しイルミネーションを設置。併せて、縁起のいいまちひたちなか絵馬事業や、まちなか賑わい事業も実施した。



▲那珂湊駅（12/3～1/26）



## イベント事業

◆各種イベントに協力支援を行い、魅力のある街づくりを推進した。



▲おもてまち七夕まつり（7/6）  
＜来場者 40,000人＞



▲婚活DE愛ひたちなか2019（7/20）  
＜参加者 38人＞



▲第24回ひたちなかドリンクラリー（7/27）  
＜来場者 1,461人＞



▲第32回那珂湊海上花火大会（8/8）  
＜来場者 40,000人＞



▲第25回ひたちなか祭り（8/17～18）  
＜来場者 210,000人＞



▲勝田TAMARIBA横丁（第38回～第40回）  
＜昨年度延べ来場者 15,000人＞



▲第35回みなと産業祭（10/20）  
＜来場者 9,000人＞



▲ひたちなか市産業交流フェア（11/2～3）  
＜来場者 31,000人＞



▲サイクリングDEひたちなか2019（11/16）  
＜参加者 177人＞

## <重点事項Ⅱ> 中小企業の稼ぐ力の向上とイノベーションの支援

消費税増税に対応した稼ぐ力の強化や生産性向上支援のほか制度融資の推進、起業家育成のための創業スクール、経営力アップセミナー等を実施し、個別相談も含め経営力強化に向けた、きめ細かい支援を行った。



▲握手を交わす柳生会頭とミラン会頭（11/7）

### ダバオ市商工会議所と経済友好協定調印式

ASEAN進出を図るためダバオ市商工会議所と友好協定締結の調印式を実施し、互いの会員企業のビジネス拡大に向けた有意義な意見交換を行った。

### 地域創業促進支援事業

起業に向けたビジネスプラン作成等、経営基礎セミナーを開催。市内外から11名の受講者が参加した。

▶令和2年度内開業予定者6名

### ひたちなかベンチャー創造協議会

ボードミーティングやAIセミナーを開催し、中小企業の生き残りのためのAI活用法について学んだ。

▶「中小企業の生き残りのためのAI活用法とは？」

石角 友愛 氏  
参加者70名



▲AI活用セミナーを開催。（7/3）



▲税務、労働、金融など経営の基礎全般に亘る講座を実施し、グループ討議をする受講生。（9/7～11/16）

## 経営力アップ事業

企業が直面する課題を解決するために、経営力向上に役立つ講習会を実施した。

- ▶ 集団セミナー <参加者延べ601名>
- ▶ 寺子屋ゼミ <参加者延べ107名>
- ▶ 個別相談 <相談数延べ2,555社>



▲脳科学者の中野信子氏を講師に講演会を開催。  
420名が参加（2/6）

## 経営革新推進事業

経営革新計画を作成し、集団セミナーや個別相談を実施し、承認申請の支援を行った。

- ▶ 個別指導14回 <参加企業16社>
- ▶ 経営革新支援事業所 <申請書提出3社>

## 専門家派遣・相談事業

中小企業の経営上の問題や専門分野の相談に対応するため、専門家を派遣し支援にあたった。

- ▶ 派遣指導回数69回
- ▶ 補助金相談会相談者数21社

## 消費税軽減税率対策事業

軽減税率対策等の相談窓口を設置し、経営力強化や問題解決にあたった。

- ▶ 相談指導施策普及の実施件数  
窓口158件・巡回1,479件

※新型コロナウイルス特別相談窓口設置（1/29～）

## <重点事項Ⅲ> 一体感のある強い組織づくりの徹底

会員のニーズを集約した政策提言活動を図るとともに、会員組織の強化に向けて役職員一丸となり会員増強を積極的に展開した。

### 第17期役員議員選挙選任

任期満了に伴う役員・議員の改選に伴い、臨時議員総会が行われ柳生会頭が選任、第17期がスタートした。



▲第17期役員・議員の新体制がスタート。（11/1）

### 委員会答申書提出

会議所をもっと知ってもらう委員会では、商工会議所活動のPR方法について、会員ファースト委員会では会員サービスの向上について、それぞれ会頭に対し答申書を手渡した。



▲会議所をもっと知ってもらう委員会で会頭へ答申書提出（10/10）

### 意見・要望活動

商工会議所の重要な活動の一つである意見要望活動では、活力あるまちづくりの実現や中小企業の支援強化などについて関係機関あてに要望を行った。



▲大谷市長に要望書を手渡す柳生会頭と井上政策委員長

### 明石市との交流事業

以前から交流している明石市へ表敬訪問し、観光への取り組みについての意見交換会や「B1グランプリin明石」に出展した那珂湊焼きそば大学院を応援訪問した。



▲明石市長を訪問し意見交換をする参加者（7/16）

### ブロック巡回事業

会員と商工会議所をつなぐパイプ役である商工振興員と連携し、ブロック巡回を実施。

- ▶ 巡回件数1,975件

### 第39回青年部関東ブロック大会茨城ひたちなか大会

青年部関東ブロック大会が開催され、関東一円の青年部会員約2,200名が当地を訪れた。



▲青年部の記念式典の様子（10/26）